

●資金需給

単位：億円	2016年12月20日		2016年12月21日		2016年12月22日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 4,800		▲ 4,600		▲ 5,000	
財政	62,500		▲ 3,400		7,000	
資金過不足	57,700		▲ 8,000		2,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国庫短期証買入			12,500			
国債買入	4,200		12,400			
CP等買入		▲ 500		▲ 600		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						100
社債等買入		▲ 1,300		▲ 100		1,300
ETF買入	100		100			
国債補完供給	▲ 2,300	100		2,300		
当増増減	58,000		18,600		3,400	
当座預金残高	3,312,200		3,330,800		3,334,200	
準備預金残高	2,983,200					
積み終了先	2,479,200				12月21日以降の残り所要積立額	
超過準備	2,477,500				積数	29,900
非準備預金先	329,000				1日平均	1,100
積み期間(12/16~1/15)の所要準備額						2,198,900
準備預金進捗率	実績	98.64%	日数			16.13%

●2016年12月20日の市場動向

<インターバンク市場>

午前8時発表の準備預金残高見込みは、前日比2兆5,000億円増の249兆円6,000億円(当座預金残高は331兆5,000億円)。朝方の無担O/Nは、邦銀・信託・証券業態を中心に▲0.035~▲0.03%の出会いで立ち上がりとなった。国債の大量償還日で需給上は大幅な余剰日であったものの、昨日より調達意欲は高く、一巡後も▲0.045~▲0.03%の出会いが散見された。ターム物は、ショートターム物で0%前後での出会いが見られた。

<レポ市場>

GC T/N(12/21-12/22)は、▲0.095~▲0.085%程度の出会い。S/N(12/22-12/26)は、▲0.095~▲0.085%程度の出会い。引き続きオファーサイドの資金ニーズが薄くなっており、動意に乏しく出会いのレートも限られたものとなった。SCは、新規・ロールオーバーともに幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では、2y370、5y128~129、10y330、333、335、340~345、30y52などにビッドが多く見られた。

<短国市場>

短国現先レートT/Nは前日から横ばい圏の取引だった。短国アウトライイト市場は3M物で▲0.42%、6M物で▲0.36~▲0.35%の出会いが小額見られたが、総じて閑散だった。

<CP市場>

CP市場は償還総額2,000億円程度に対し、発行総額は2,500億円程度で、機械、石油、化学、ノンバンク等の業態からまとまった発行案件が見られた。発行レートは概ね横ばい圏だったが、一部の年末越え物では低めのレートで決着する銘柄も見られた。

●短期金融市場関連指標

2016/12/20	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位:%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.070	0.001	▲ 0.032				-	▲ 0.096	0.065	▲ 0.010	19,494.53	102.93	117.02-03	117.88-90
T/N			▲ 0.010				-	▲ 0.093						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.040	0.001	▲ 0.032				-	▲ 0.100						
2W			▲ 0.035				-	▲ 0.179						
3W							-	▲ 0.167						
1M							-	▲ 0.153						
3M							▲ 0.401	▲ 0.151						
6M							▲ 0.339	▲ 0.225						
1Y							▲ 0.320	▲ 0.228						

●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	応募額(億円)	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応募総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)	155,013	2016/12/20	2016/12/21		1,997	1,997		▲0.500	▲0.500	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)	45,801	2016/12/20	2016/12/21		140	140		▲0.500	▲0.500	
米ドル資金供給		2016/12/22	2016/12/30	1.16	486	486				

●2016年12月21日の予定

*月例経済報告	*国庫短期証券(654回)入札 (3ヶ月、44,000億円、12/26発行)	*流動性供給入札 (5,000億円、12/26発行)
*米国11月の中古住宅販売		

●日銀金融政策決定会合・結果

●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。

(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2)

短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。

長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。買入れ額については、概ね現状程度の買入れペース(保有残高の増加額年間約80兆円)をめどとして、金利操作方針を実現するよう運営する。

(2)資産買入れ方針(賛成7反対2)(長期国債以外の資産の買入れについて)

①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。

②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はおお客様自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入